

令和4年度 事務事業点検評価シート

事業番号	10	事業名	図書資料の貸出（予約）事業
		担当部署	図書館

教育振興基本計画での位置付け	基本目標	2 生涯学習を支える社会教育の充実
	施策	1 学習環境と学習機会の充実
	施策の展開・主な取り組み	4 図書館サービスの充実

事業の内容	図書資料等の貸出・予約、県内公立図書館ネットワークによる相互貸借制度の活用
-------	---------------------------------------

事業の対象	市内に在住・在勤・在学する者のほか、川口市、戸田市、草加市及びさいたま市に在住する者
-------	--

事業の目的・目指すべき姿	<p>[事業の目的] 利用者の多様なニーズに応え、教養の向上、レクリエーションおよび日常生活に役立つ資料などを幅広く収集し、提供する。</p> <p>[目指すべき姿] 高度化、多様化する情報について、図書資料をより多く収集することにより、利用者の教育と文化の発展に寄与する。</p>
--------------	---

取り組みにおける成果・効果について

令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等が発出されたものの、臨時休館をすることなく感染対策の徹底を図りながら通常開館できた。さらに蕨市が舞台の女子サッカー漫画「さよなら私のクラマー」の特設コーナーが大変盛況であったこともあり、年間実利用者数と年間貸出件数につき前年度比大幅増を実現できた。

また、中学生・高校生のいわゆるヤングアダルト（YA）世代の読書活動推進の一環として、蕨高校図書委員に協力いただき、現役高校生の目線で本を選び、同世代に向けた推薦文を添えおすすすめ本コーナーを設置した。この取り組みは、より多くの中高生が関心をもって本に触れてもらうことを目的としており、蕨高校図書委員おすすすめ本コーナーを設置したことで、YA世代の読書を通じた心の成長の後押しの一助となった。

取り組みに対する担当課評価	A	前回評価結果	A
---------------	---	--------	---

参考指標	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	令和4年度（見込み）
年間実利用者数（人）	9,720	7,695	9,016	9,500
年間貸出件数（件）	338,861	279,765	381,693	400,000
年間予約件数（件）	24,788	39,642	37,975	38,000

決算額の状況	年度	令和元年度 決算額(円)	令和2年度 決算額(円)	令和3年度 決算額(円)	令和4年度 予算額(円)
	事業費	30,617,605	34,221,114	36,661,488	44,511,000
	人件費	44,459,000	39,010,000	41,050,000	41,050,000
	合計	75,076,605	73,231,114	77,711,488	85,561,000

残されている課題・今後の取り組みについて

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた各種事業のうち、ボランティアの方々と連携して実施している児童向けの定例イベントをはじめ、隔月で開催している映画会、年初めの図書館寄席等、感染対策の徹底を図りながら、ほぼ通常どおり再開することができた。

今年度は、インターネット上で電子書籍の貸出を行うことにより、来館が困難な方に対して読書の機会を提供するとともに、非接触型のサービスによって感染症拡大を防止することを目的に、電子図書館サービスの導入を予定しており、コロナ禍における「新しい生活様式」に対応したサービスを推進していく。

外部委員評価	評価結果	評価コメント
	A	<p>コロナ禍の下で、利用者数、貸出件数の維持、増加をみたことは、図書館機能の独自性の発揮、感染対策の実施という点でも高く評価される。高校生のおすすすめ本コーナー設置もサービスの充実のみならず、若者の学習機会としても有意義であり、さらなる拡大が期待される。電子図書の利用は来館が難しい人々への新たなサービスとして重要であるが、利用方法に慣れない人々の入門講座など、サービスに格差が生じないように配慮も求められる。／図書館をより利用しやすくなる取り組みを行い、さらに利用の推進をしていただきたいです。また現役高校生の意見を取り入れた推薦図書の導入、蕨高校生推薦図書コーナーなどオリジナルの取り組みが興味深いです。</p>